

トピックス 24

平成26年度看護職員研修

新人看護職員研修

6月編

急変時の対応

BLSとAED



「一時救命処置の意義を理解し、理論に基づいた技と冷静に対応できる態度を学ぶ」ことを、目的に研修が開かれました。



氣道確保って難しい



見て・聞いて・触って



頸動脈ってどこ？



脈ある？



どうしました？ ○○さん！
意識がありません。
呼吸していません。
脈が触れません。

落ち着いて LET'S BLS

研修後の感想

小沢さん

緊急の時に動くわしていなかったが、自分がどうしていいか周りが見えるようになった。

1年目だけど周りを見ながら、力になれるように動いて行こうと思った。

中村さん

2分間心臓マッサージをすることはすごく大変だった。

病棟で、急変時の対応がよくわかってよかった。

筋肉痛になった。

西原さん

抗議のみではなく、実践があったのでわかりやすかった。実際に先輩についてもらい「こうだよ」と説明があり分かりやすかった。

看護学校で行ったよりも実践的でわかりやすかった。



追記

4月・5月と行われた研修の感想を掲載します。

4月:「新人看護研修」を終えて

望月さん

今日までの研修では社会人としての姿勢、専門職としての自覚や知識基本的な技術を学んだ。

まだまだできないことが多い中、この時期だからこそ学べること、出来ることもある。一歩ずつでも日々気づきや学びを吸収し成長していきたい。

緩和ケア病棟では一人一人の患者さんと関われる時間が多い。その時間を大切にし、“その人らしさ”を追求した看護を提供していきたい。

4月:「検体の取り扱い」時の採血研修を終えて

本さん

「初めて、本物の体で採血をして、実際に人に行くことの怖さと、根拠をもって手技を行っていくことの大切さをあらため学ぶことができました」

5月:「医療チームの一員としての役割」の研修を終えて

川口さん

「医療者として、医者・看護師・患者さんの立場に立った研修をすることで各職種の大変さや知識を知り、また、患者さんの想いを考えると良い振り返りになりました」

研修を通して多くのことを学び、看護実践に生かしていきます。